

令和2年度徳島県西部地域政策総合会議計画推進評価部会報告

1 開催状況

(1) 計画推進評価部会

①日 時 令和2年7月30日(木)

現地視察：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
部 会：午後2時～午後4時

②場 所 部 会：西部総合県民局 美馬庁舎 大会議室

③出席者 委員7名中5名出席

石田和之 部会長 (専門委員) ※リモートによる出席
加藤秀典 委員 (専門委員)
大島直子 委員 (専門委員)
金村 盟 委員
平尾幸子 委員

④議 題 「徳島県西部圏域振興計画(第4期)」の取組状況(令和元年度)と評価について
ア 評価方法について
イ 令和元年度の取組状況について
ウ 評価

2 徳島県西部圏域振興計画(第4期)の評価について

(1) 評価の単位

「徳島県西部圏域振興計画(第4期)」の「第5章 行動計画(圏域振興の視点と取組み)」において、「重点項目」の下位にある「中項目」を評価単位とする。

徳島県西部圏域振興計画 第5章 行動計画(圏域振興の視点と取組み)
重点項目(5) → 中項目(1.5) → 施策(105)と●数値目標(137)

(2) 評価の方法

評価シートの記載内容に基づき、数値目標達成率(%)による「施策」ごとの客観的、機械的な「ABC判定」と、「具体的な取組の内容」「成果」「今後の取組方針」また、数値目標が未達成の場合における「数値目標未達の要因及び課題」「課題解決に向けた対応」を点検し、各中項目ごとに、委員の合議により、3段階(順調、要注視、要改善)で評価した。

3 評価結果と評価意見

1 観光・移住・交流による地域活力の創生

(1) 人が行き交う「にし阿波」活力づくり	順調
• 令和元年度の実績は数値目標を達成しているが、コロナの影響が本格的に現れてくるのは令和2年度であり、その取組をどうするのかというのは非常に重要。	
(2) 深化する「にし阿波」魅力づくり	順調
• ウォータースポーツ関係や剣山登山、ポタリングなど、地域資源を活用して素晴らしいコンテンツを作っていると感じている。	
(3) 地域を挙げた「おもてなし」態勢づくり	順調
• にし阿波体験プログラム「あわこい」については、地域住民でもまだまだ知らない人がいるので、さらに周知をしてほしい。 • 観光地域づくりマネージャーを養成するだけでなく、実際に活動してもらえる機会を増やす必要がある。	

2 豊かな地域環境の次世代継承

(1) 美しい自然環境との共生	順調
• 「剣山登山道ナビシステム」アプリの評価向上に努めていただきたい。	
(2) 良好な地域環境の創造	順調
• 数値目標が毎年同じ（例 ⑱～㉒年間7回以上）という項目が多いが、実績がそれらの目標値を大きく上回ることを期待している。	
(3) 環境資源の積極的な活用推進	順調
• 食肉処理加工処理頭数が数値目標を達成しているが、実際に販売につながっているのか。	

3 誰もが安全で安心できる地域社会の形成

(1) 広域防災・受援体制の確立	順調
・『防災』及び『健康増進』講座等実施回数」について、数値目標（45回）に対して実績（129回）が大幅に上回っており素晴らしいという反面、目標のそもそもの設定がどうなのか。適切な目標設定をすべき。	
(2) 災害に備えた着実な基盤整備	順調
・「土砂災害の危険性のある要配慮者利用施設及び避難所の保全施設数」が目標値を下回っているが、昨年度、平成30年7月豪雨被害の工事の影響により実施に至らなかった工事も、その後順調に進捗しているとのことで、それを踏まえ「順調」と評価したい。	
(3) 地域で地域を守る活動の推進	順調
・「防災出前講座・訓練の開催回数」が年間96回で、月8回ペースであり、非常に多くてよいことだと思う。	

4 誰もが幸せに暮らせる地域の実現

(1) 子供の育ちをはぐくみ、支える地域づくり	順調
・目標値を大幅に上回っている項目も非常に多く、「順調」と評価したい。	
(2) 心を寄せ合う地域福祉の充実	順調
・全体として「順調」と評価するが、福祉に関わる項目であり、「順調」だからこれで何も問題がないかということ、現場では色々問題があると思うので、これまで通り取組が必要。また、県で直接やることだけでなく、市町への働きかけについても、積極的に進めていけるとよい。	
(3) 健康寿命延伸に向けた地域力の向上	順調
・研修会については、リモートなど参加しやすい環境づくりが大切。 ・コロナ禍において、地域経済が非常に悪くなっているということを念頭において、自殺対策や児童虐待防止対策など、さらなる強化に取り組んでいただきたい。	

5 持続可能な地域経済の推進

(1) 「にし阿波型もうかる農業」の確立と推進	順調
• コロナ禍において、都市から地方への移住や地方で農業をしたいという方もいらっしゃると思うので、そういった方が、こちらに来られるチャンスをたくさん作って頂きたい。	
(2) 森林・林業を核とした「地方創生」	順調
• 数値目標を達成しているため、評価は「順調」としたい。	
(3) 国内外との交流を通じた商工業の振興	順調
• 「にし阿波ならではの新たなビジネス等の創出件数」の数値目標が「年間1件以上」という目標の設定の仕方が適切なのか。 • 「サテライトオフィス等誘致企業での雇用者数」という目標があるが、雇用者数だけでなく、進出してくる企業の数にも注目していただきたい。 • マッチング成立件数について、目標達成だけでなく、その後もフォローしていただきたい。	

その他の委員意見

- コロナ禍で、「衛生」が一つの大きなテーマだと思う。にし阿波が、教育旅行も含めて、安心安全な観光ができることを強みとするために、アフターコロナに向けて、今から取組をしっかりと行うことが重要。インバウンドをある程度方向転換するというのも一つの戦略でないか。
- 今できることとして、コンテンツづくりやプレイヤーづくりに力をいれていただきたい。スポーツツーリズムでもこれまで注目されていなかったゴルフや西部防災館のヨガ、武道ツーリズムなど、ありとあらゆる楽しめるコンテンツやアクティビティを掘り起こして、充実させていくと滞在日数も増えるのではないか。
- コロナ禍においては、ニーズに合った効果の高い様々な支援制度を長期的なスパンでお願いしたい。